

要素は必要最低限に。 忙しくても、パパッと登録。

アカウントごとに必要な品目をカスタマイズし、シンプルな画面構成で、誰でも簡単に廃棄物を見える化することができます。

必要なものはスマホやタブレットだけ。オプションで計量器やラベルプリンタなどと連携することも可能です。

テナント管理や風体引き機能など、大型商業施設やレストラン、オフィスビル、物流倉庫などで必要とされる細かな要件にも対応できます。

電子マニフェストにも自動連携できるので、マニフェストへの登録の手間が省けます。



具体的な登録フロー

2~3ステップで廃棄物データを登録できます。

テナント選択 *オプション



品目選択



重量登録選択



リアルタイムにデータにアクセス。 サッと見て、パッとわかる。

リアルタイムに廃棄物データをダッシュボードに表示。いつでもどこでも簡単に廃棄状況を確認することができます。

CSVとグラフデータの出力が可能なので、環境報告書作成に向けたデータ収集作業に時間を取られることはありません。

データを有効活用することで、環境負荷低減に向けたネクストアクションが明確になります。

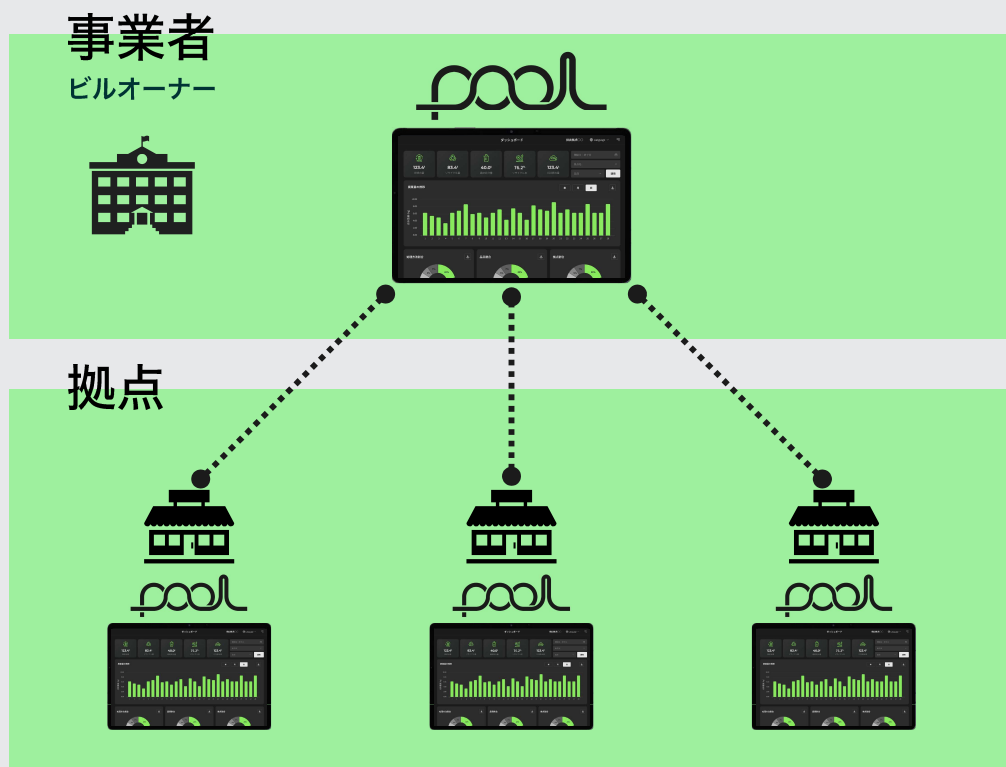
廃棄物の総排出量 / リサイクル率 / CO₂排出量 (スコープ3カテゴリ5) / 廃棄量の推移 / 処理方法の割合 / 品目の割合 / 拠点の割合ほかにもいろいろ。



必要な情報は 必要なところに。 (本社/拠点)

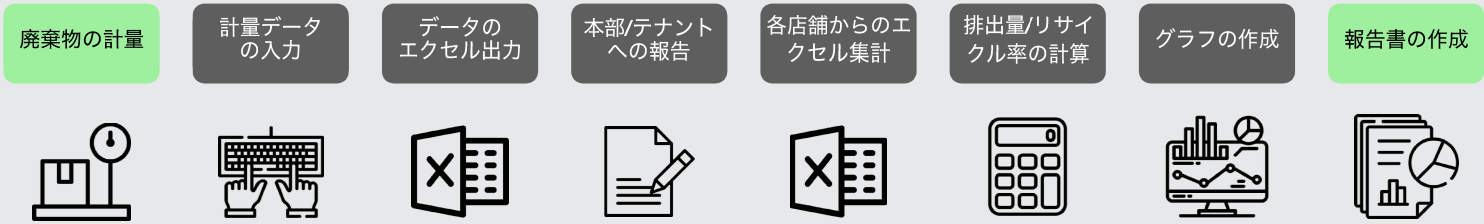
権限をID/PASSでコントロールして、各拠点を管理する事業者アカウントは、管理拠点全体の廃棄物データにアクセスすることができます。それにより拠点ごとの比較や事業全体の廃棄物を一元的に管理することが可能です。

一方、各拠点アカウントはその拠点の廃棄物データのみを管理することが可能です。情報は事業者アカウントとリアルタイムで連携しているので、本部に報告する手間も省くことができます。

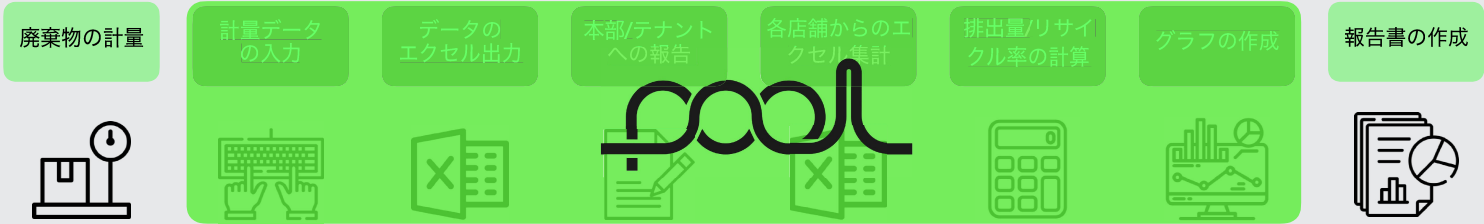


現場も嬉しい - poolを導入することで変わること

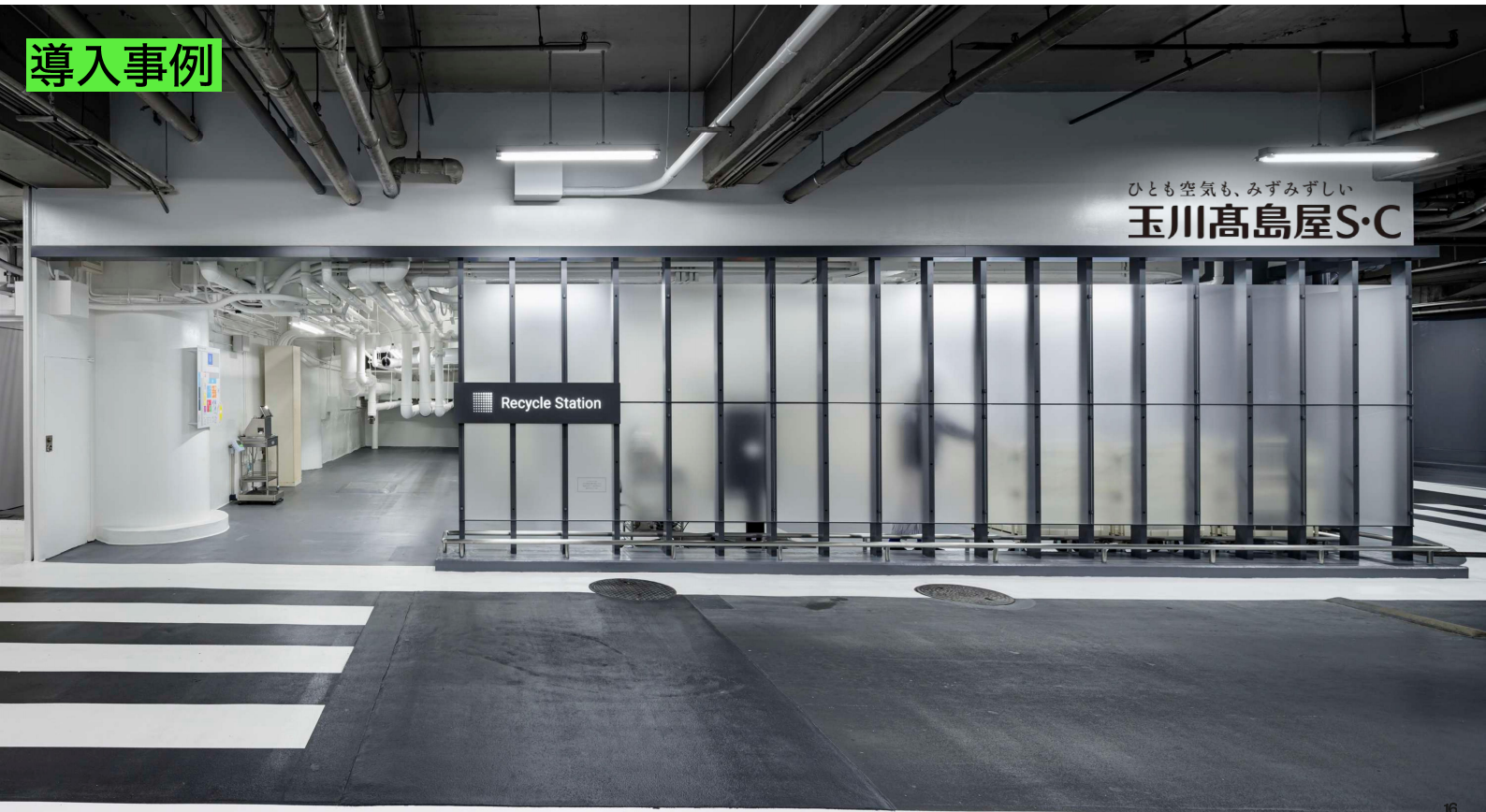
テナント 店舗 本部



作業をDXし、現場で最終データが作れる



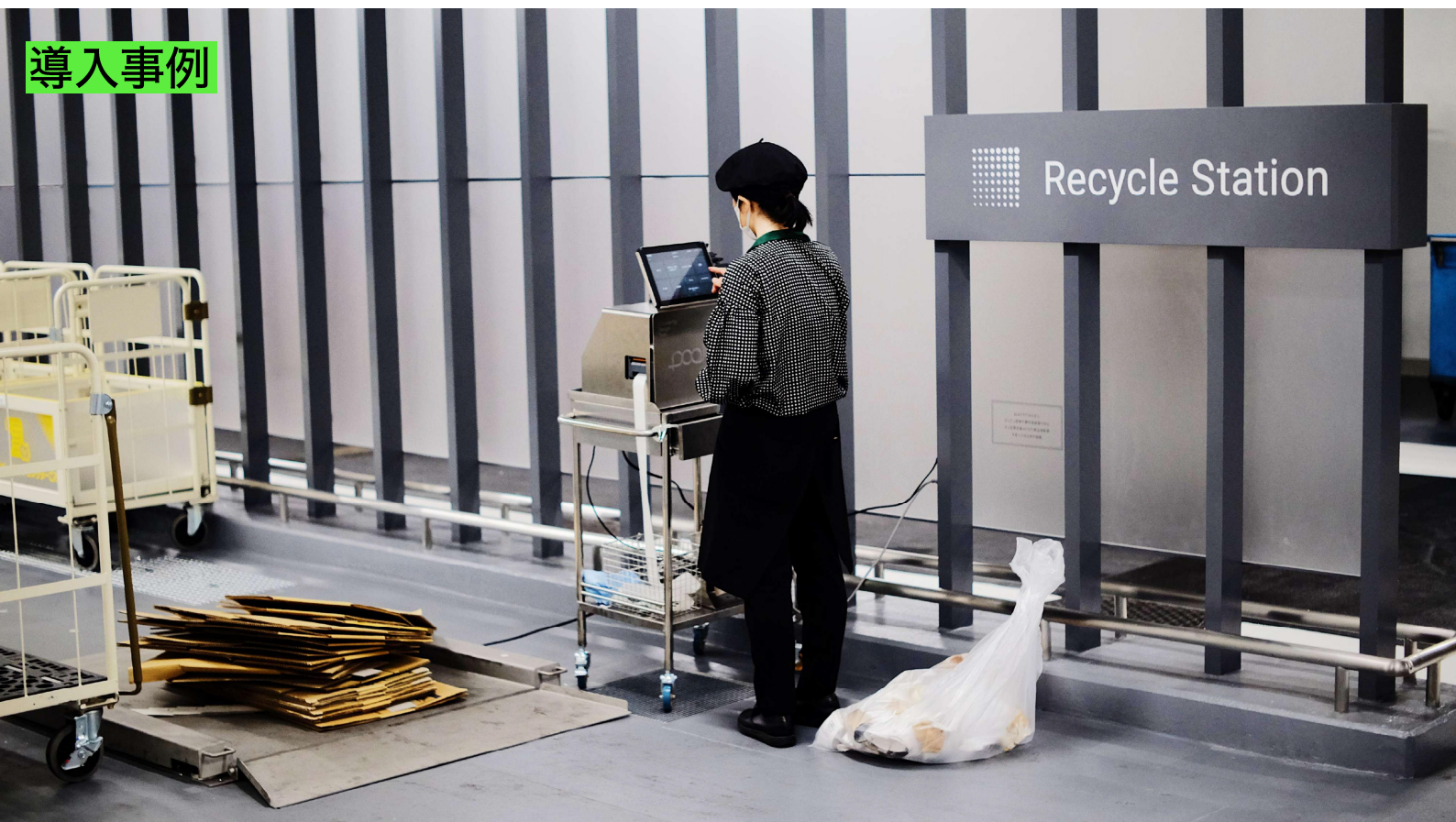
導入事例



導入事例



導入事例



玉川高島屋S.C.の導入事例：データ集計・分析プロセスの自動化・リアルタイム化

まず、poolシステムを導入することで、施設全体の廃棄に関わるデータ集計・分析が自動化され、リアルタイムで施設全体での排出傾向を把握し、詳細分析のドリルダウンができるようになりました。

✓ 担当者の声

- 各種データが、自由にフィルタをかけて瞬時に分析して見れる点は常々使いやすく、非常に有益と感じている
- 現在の廃棄状況をいつでもリアルタイムに把握できるため、CSV出力→集計する作業がなくなった
- 業務の自動化・マニュアル化をすることができ、担当者の異動や変更で引き継ぎ不足の懸念がなくなった



RECOTECH. All Rights Reserved.

玉川高島屋S.C.の導入事例：データ集計・分析プロセスの自動化・リアルタイム化

さらに、テナント個別のアカウントを発行することにより、テナントが自身で自店舗の廃棄データや請求データを確認することができるため、サステナビリティ担当者がテナントへの個別レポートを作成したり、請求データを集計したりする必要がなくなりました。

また、テナント個別のダッシュボードには施設内や施設外の同業他店舗と比較したランキングや注力すべき品目等のメッセージが自動で表示されるため、テナントへの分別啓発のコミュニケーションにもなっています。

✓ 担当者の声

- テナントへの廃棄レポート報告業務が完全に削減された
- 請求データの集計業務がまるっとなくなった

✓ テナントスタッフの声

- 施設側にデータを要求しなくても確認できるため、本社へいつでもすぐに報告できて役立っている



RECOTECH. All Rights Reserved.



Procurement

RECOTECH

PRIVATE & CONFIDENTIAL

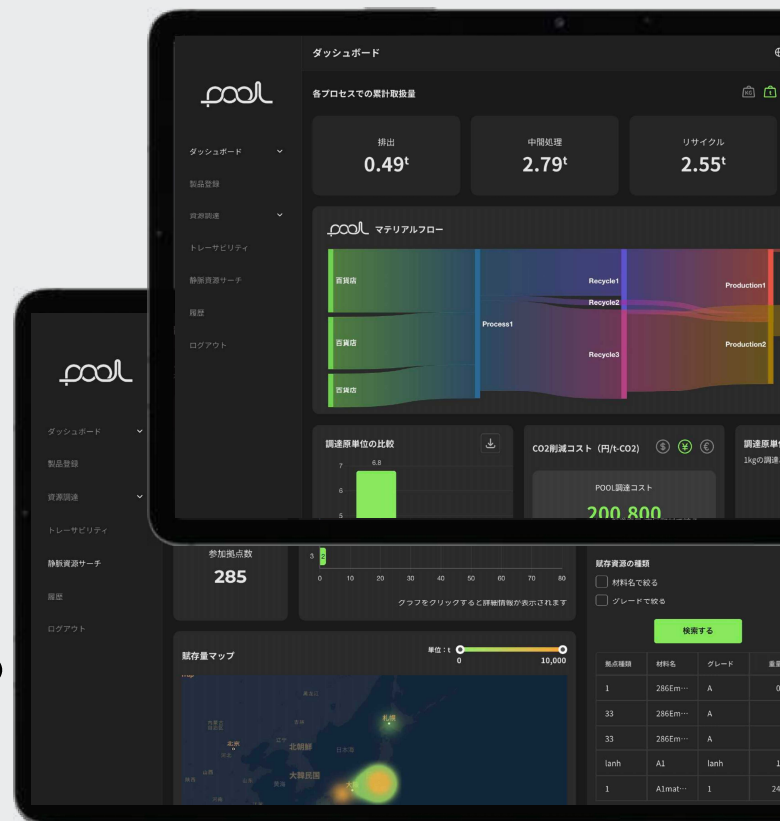
21

次世代型PCR材
調達プラットフォーム



未来を見据えて、
循環資源を確保する。

RECOTECH



資源賦存量を可視化し、再生材/再生原料を確保



再生材/再生原料の安定調達

- 再生材/再生原料の賦存量をデータ化し、システムを活用して資源の確保が可能になります

資源賦存量を一元管理

- 排出、中間処理、再生などのプロセスごとの賦存量(在庫量)を可視化し、どこに何があるのかを把握できます

特許取得の発生予測*

- エリア別、品目別、排出事業者業態別のデータを活用した資源の発生予測データを提供します

*実装中

*特許(第6941378号)取得済み



追跡可能な、トレーサビリティを実現



ニーズから設計されたトレーサビリティ

- メーカーが再生材/原料を調達する上で欠かせないトレーサビリティ情報をシステムで担保します
- 担保されたトレーサビリティ証明書を発行します

一次情報に基づいた、GHG排出量を算定

一次情報に基づくCFP算定

- トレーサビリティ情報をもとに、一次データに基づくカーボンフットプリントの算定が可能です
- 経済産業省・環境省が公表する「カーボンフットプリントガイドライン」に基づき、ISO14067に整合する算定ロジックでCFPを算出します。



導入事例

横浜市とpoolによる廃棄物のデジタル管理で連携協定を締結

連携協定の目的は、「サーキュラーエコノミーの推進」と「廃棄物管理の高度化」。

当社の次世代型廃棄物計量管理システム「pool」の知見を活かし、横浜市と共に横浜市が管理する約1200拠点の施設から排出される資源のサーキュラーエコノミー推進と脱炭素社会の実現に向けた革新的な取り組みを進めます。



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000034.000046448.html>

導入事例 衣類用カバーの高度回収・リサイクル

I
排出元で対象となる
プラスチックを分別



II
データを活用して
廃プラを共同回収



III
リサイクル工場で
再資源化



ペレットをpoolに登録

IV
リサイクル材を
製品に活用



Fashion Service NANIWA



Resource Tech Startup
RECOTECH